



CSA Japan Congress 2021 閉会の挨拶

2021年11月18日

寺尾 敏康 一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス 業務執行理事 事務局次長

2021年度前期(2021年6月~)の主な公開資料

- >>「クラウド脅威モデリング」翻訳公開:10月31日
- >>「クラウド重大セキュリティ脅威対策 DevSecOpsのユースケース」:10月25日
- >> CCM (Cloud Control Matrix) V4.0.2 及び CAIQ (CONSENSUS ASSESSMENTS INITIATIVE QUESTIONNAIRE) V4.0.2の日本語版公開:8月20日
- >> CCM V3.0.1と「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度(ISMAP)」とのマッピング:8月9日
- >>「Cloud Data Protection」:8月2日
- >>「セールスフォースのための重要なコントロールの実装|翻訳公開:7月9日
- >>「クラウドインシデントレスポンス (CIR) フレームワーク」翻訳公開:6月3日

CSAジャパン WG 3本の柱

- 1. アウトプットの作成
- CSA本部資料の翻訳、公開
- 独自資料の作成公開
- 2. リサーチ活動
- WGとして、独自のリサーチ活動
- 3. WG内、情報共有、知識向上
- CSA本部資料をベースにした情報共有
- WGメンバーが持ち寄った情報をもとに勉強会

ワーキンググループ WG's

応用

健康医療情報管理 ユーザー

ICS (*1/2) * 1 本部WG として活動

応用基盤

モバイルユー **IOT** ザ (*2)

ビッグデー タユーザ (*2)

休止中 * 2

SDN

マイクロサービス

RPA

* 3 検討会

セキュリティ

コンテナ・

(*2/3)

タスク * 4 フォース

応用・技術

CASB

SDP

Block Chain

翻 訳

セキュリ ティ基礎 クラウ ドプラ イバ

クラウド セキュリ ティ

データ セキュ リティ

ガイ ダン ス

標準・管理 とツール類 SLAイノベーション (*2)

CCM/STAR

ISMAP (*4)

今回の セッション

CSAジャパン 主なワーキンググループ(WG)の活動目的

>>データセキュリティ WG

クラウド上のデータ保護として、アクセス管理、暗号化、鍵管理、モニタリング等の推奨事項が記載されているが、ブロバイダのデータ保護対策の内容の把握、利用者側で取るべき対策、プロバイダが提供するデータ保護の機能の利用など、具体的な対応方法をガイダンスから読み解くことが難しい状況である。データセキュリティ WG では、このような課題に対してよりわかりやすい技術的な解説を行い、ガイダンスのデータ保護に関する解説書的な位置づけとなるようなアウトプットの作成を目指す。

>> SDN WG

SDN を技術的に解説し、SDN のクラウドへの利用方法および優 位性を解説し、ガイダンスでは理解しきれない点をカバーしていくことで、ガイダンスに関する SDN の解説書的な位置づけとなるようなアウトプットの作成を目指して活動していく。

>>アプリケーションコンテナ&マイクロサービス WG

グローバルレベルで、アプリケーションコンテナおよびマイクロサービスのセキュリティに関する基本的な 調査研究を行い、セキュアなアプリケーションコンテナおよびマイクロサービス利用のための ガイダンスやベストプラクティスを発行するとともに、日本国内レベルでは、クラウドサービ スのユーザー/コンシューマー向けに、アプリケーションコンテナおよびマイクロサービスの セキュリティに関する啓発活動を行うことを目的とする。

>>クラウドプライバシー WG

クラウド環境におけるプライバシおよび個人データの保護および取り扱いに関して、グローバル及び日本の視点でガイドラインを出していくことを目的とする。

>>健康医療情報管理ユーザー WG

CSA グローバルの Health Information Management Working Group の活動に準拠して、患者/生活者中心の視点から、健康医療分野のクラウド利用に係るセキュリティ/プライバシー保護を支援するための基本的な調査研究を提供し、エンドユーザー向けのクラウドセキュリティに関する啓発活動を推進することを目的とする。

>>CASB WG

laaS/PaaS/SaaSのクラウド利用増加に伴い、クラウドアクセスの制御、可視化、クラウド環境設定の監査とガバナンスの強化、脆弱性の管理や、最近顕在化している SaaS の設定ミスによる情報漏洩などの様々な課題が増えてきています。この WG ではこれら課題解決を目指すために、クラウドセキュリティを学び、情報を交換し、できるだけそれらを分かりやすく外部に発信していくことを目的とする。

>> SDP WG

日本における SDP の普及に向け、テクノロジおよびビジネスへ の適用 について幅広く議論し情報提供を行う。

>>IoT WG

IoT(もしくは M2M)、とりわけスマート家電などに対して、クラウドから提供される各種サービスへの脅威とその対策について検討、提言を行う。

>>クラウドセキュリティ WG

CSA ジャパンにおける他のワーキンググループが扱わない事項 や、マクロなクラウドセキュリティについて等を題材にし、世に有効に活用できる情報を発信 する。

>>CCM/STAR WG

CSA グローバルの Cloud Control Matrix (CCM)の日本語化について、その監修および一般への公開を行う。また、日本語版をベースに、日本の法令、標準、基準の CCM へのマッピングを 行うと共に、日本における CCM の展開のための啓発活動を推進することを目的とする。

>>ISMAP タスクフォース

CCM と ISMAP のマッピングおよびリバースマッピングを行うためのスペシャル・タスクフォースとして実施する。

CSAジャパン WG 参加方法



日本クラウドセキュリティアライアンス (CSAジャパン)



- 1. CSAジャパンのホームページ https://cloudsecurityalliance.jp/
- 「ワーキンググループ」のプルダウンより、「ワーキンググループ参加申し込みページ」を選択
- 3. 「参加を希望されるワーキンググループ」のプルダウンから参加するWGを選択し、必要事項を記入して送信

注意: ワーキンググループへの参加はCSAジャパン会員 のみとなりますが、CSAジャパン会員以外の方もオブザー バ参加(1回だけ会議に参加)が可能です。



cloud

WGの「場」の積極活用!

ニューノーマル時代に対応できる人材になる!

自己啓発:学生に戻る?社内コミュニティを活用する?

CSAのWGで外部コミュニティを活用する!

◆社員の方々が積極的にこの 「場」を活用できるようにご協力 VDLUN丁厚ER をお願いします!



フェースブック グループ

• CSAジャパンでは、様々な情報を以下のフェースブックのグループで公開しています。また、参加者による有用な情報発信も掲載されています。このグループへの登録をお願いします。

https://www.facebook.com/groups/708468602542892/







CSAの活動 == 「<mark>場</mark>」**の提供!** 様々なワーキンググループ活動の「**場**」 自由な情報発信の「**場**|



https://cloudsecurityalliance.jp info@cloudsecurityalliance.jp

ありがとうございました